

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

■科目基本情報

| | | | |
|----------------|------------------|-------|------|
| 科目名 | システム設計Ⅱ | 科目コード | 5880 |
| シラバスコード | 191C0J-5880 | | |
| 授業時数/週 | 5 時間 | | |
| 開講年次・学期 | 3年・後期 | | |
| 必修/選択区分 | 必修 | | |
| 担当教員 | 三輪明義 | | |
| 教員の実務経験 | 実務経験のある教員による授業科目 | | |
| 職業実践専門課程 備考 | | 連携企業等 | |

■科目詳細情報

| | |
|-----------|---|
| 授業概要 | システム設計Ⅰで学習したUMLモデルの基本に対し、この科目ではさらにモデルを追加拡張して学習を進め、複数のモデル間の連動性を学ぶ。また、後半では他科目との合同授業で、グループ演習を実施する。 |
| 到達目標 | ・UMLのオブジェクト図、クラス図、シーケンス図、ステートマシン図について、基本文法を理解する。さらに、クラス図、シーケンス図等については基本的な作成ができる。さらに、複数のモデル間の連動性を理解し、作成ができる。 |
| 授業方法 | UMLの対象モデルの技術情報を講義し、その後簡単な題材で、個人による実習作成する。 |
| 実践的教育の内容 | UMLについては、前期に実施した内容に引き続き、簡単な開発事例を利用して、UMLの各モデル図（クラス図、シーケンス図、等）の作成をする。また、後半の他科目との合同授業対応では、随時発生する問題点を実務経験に照らし合わせて対応する。 |
| 評価方法 | 提出課題（講義レポート、モデル図）80%、平常点20%で評価する。課題は与えられた条件を満たしているかを評価、平常点は授業への積極参加度を評価する。 |
| 授業外における学修 | 特になし |
| 授業計画 | 第1週 UML ステートマシン図(1) ステートマシン図の考え方、基本文法説明 |
| | 第2週 UML ステートマシン図(2) astahを使用したステートマシン図の操作説明と課題 |
| | 第3週 UML オブジェクト図 オブジェクト図の考え方、基本文法説明 |
| | 第4週 UML クラス図(1) クラス図の考え方、基本文法説明 |
| | 第5週 UML クラス図(2) astahを使用したクラス図の操作説明と課題 |
| | 第6週 UML シーケンス図(1) シーケンス図の考え方、基本文法説明 |
| | 第7週 UML シーケンス図(2) astahを使用したシーケンス図の操作説明と課題 |
| | 第8週 UML 主要UMLの総まとめと合同授業説明 合同授業のシステム設計課題としてUML作成をすることの説明 |
| | 第9週 3年生最終課題(1) チームと開発テーマを決定 |
| | 第10週 3年生最終課題(2) プロジェクト計画、要件の整理 |
| | 第11週 3年生最終課題(3) 第1イテレーションの設計 |
| | 第12週 3年生最終課題(4) 第1イテレーションの実装とレビュー |
| | 第13週 3年生最終課題(5) 第2イテレーションの設計 |
| | 第14週 3年生最終課題(6) 第2イテレーションの実装とレビュー |
| | 第15週 3年生最終課題(7) 第3イテレーションの設計 |
| | 第16週 3年生最終課題(8) 第3イテレーションの実装とレビュー |
| | 第17週 3年生最終課題(9) 合評会、デジタルワークス、相互評価 |
| 教科書・教材 | かんたんUML入門改訂2版 技術評論社 ISBN:978-4-7741-9039-6 UML作成ツール：astah、オリジナル教材 |
| 参考文献・資料 | 特になし |
| 履修上の留意点 | 特になし |